

近畿中部



近畿中部防衛局管内図
青色部分（東海支局管内）
2府7県の防衛に関する情報誌



近中くん

「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成19年9月1日（防災の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（きんちゅうくん）
職業：徳し業
宝物：手作りのまが玉札
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
特技：たこ焼き、きしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2018
7 - 9月号



(MCH-101)

(写真提供：海上幕僚監部総務部総務課広報室)

目次

新局長からの挨拶	2
部隊紹介～海上自衛隊舞鶴地方隊	3
日米共同訓練	4
局長感謝状贈呈、優秀工事の顕彰状贈呈式	5
米軍経ヶ岬通信所からのニュース	6
防衛省業務セミナー	7
周辺財産（移転補償跡地）個人・民間事業者に対する有償使用許可のご案内	
近畿中部防衛局からのお知らせ	8

新局長からの挨拶

この度、近畿中部防衛局長を拝命しました島 真哉です。

よろしくお願いします。

近畿中部防衛局長という重責を担うこととなり、大変な名誉と思うと共に、身の引き締まる思いをしているところです。

近畿中部防衛局は、我が国第二の政経の中核である近畿地方を中心に東海、北陸地方も含め広範囲を管轄し、防衛行政全般の拠点として、とりわけ重要な機能を担っていると承知しています。

今日、我が国を取り巻く安全保障環境には様々な課題や不安定要因が存在しており、我が国周辺の安全保障環境は一層厳しさを増しています。

このため防衛省・自衛隊としても、各種事態の発生時における自衛隊の運用はもちろんのこと、対処能力の向上をはじめとする各種施策を実施しておりますが、これらの施策の着実な実施のためには、言うまでもなく地方公共団体や地域住民のご理解とご協力が必要不可欠であります。

近畿中部地域を管轄とする当局としても、このような地域のご理解とご協力を着実に得ることは、まずをもって最重要の任務であり、当職としては、この任務を達成するために全力を挙げて取り組んで行く所存であります。

具体的な基地問題の解決に当たっては、先ずは地方公共団体や周辺住民の方々の立場に立って、どうしたらご理解とご協力を得られるだろうと真摯に考え、そして出来るだけ早くにご意見やお気持ちを拝聴することが大事であると考えます。そうすることによりお互いの意思疎通を図り、信頼関係が構築されることにより、そこから問題解決の糸口が見えてくるのではないかと考えています。

当職といたしましてはこのような考えの下で頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



部隊紹介～海上自衛隊舞鶴地方隊

○総監部の概要

舞鶴地方隊は、北は秋田県から西は島根に至る日本海側一帯の警備にあたるとともに、護衛艦等が円滑に行動できるよう補給・修理・人事などの後方支援も行っています。

また、海岸に漂着した機雷等危険物の処理や災害・事故が発生した場合の救助・復旧・輸送等にも従事しています。



舞鶴地方総監部

○地域との交流

みなと舞鶴ちゃったまつり、サマーフェスタ及び赤レンガハーフマラソン等を通じて、周辺地域の各種行事等に積極的に参加しています。



みなと舞鶴ちゃった祭り

舞鶴地方で話される方言（舞鶴弁）である「ちゃった」の名を冠した祭りで、1975年（昭和50年）から舞鶴市、舞鶴商工会議所が主体となった祭りであり、毎年、舞鶴地方総監部も参加し、舞鶴音楽隊による演奏会及び艦艇の電灯艦飾などを行っています。

「舞鶴赤レンガハーフマラソン」は、日本陸上競技連盟公認コースとして、全国では、例を見ない海上自衛隊の艦艇等が係留されている岸壁や第23航空基地が経路に設定されており、走りながら間近に艦艇や航空機等を見ることができるユニークな大会で、昨年は、2,842名のランナーが秋空のもと疾走しました。今年は、10月8日（月）に行われます。



舞鶴赤レンガハーフマラソン



サマーフェスタ

サマーフェスタは、毎年7月に実施し、舞鶴基地及び第23航空基地を開放し、艦艇への乗艦見学、航空機見学など行い、その他、舞鶴海自カレーもあり、各種イベントもあります。

身近に海上自衛隊を知ってもらうための舞鶴地方隊をあげてのイベントです。

○総監部近隣の紹介

（ごろがたけ）

総監部の南に位置する五老ヶ岳公園から眺める景色は、「近畿百景」第一位に選出された景色で、そこから望む碧い海と護衛艦が並ぶ栈橋とのコントラストが、とても美しい街並みです。



五老ヶ岳公園からの景色



自衛隊栈橋

日米共同訓練

平成30年7月16日から20日まで、米軍再編に係る訓練移転（日米共同訓練）が航空自衛隊小松基地で実施されました。

訓練移転は、日米間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的として実施しており、小松基地での訓練移転は、平成19年5月に初めて実施してから、今回で11回目の実施となりました。

今回の訓練移転は、米軍嘉手納基地に所属する第18航空団のF-15が6機小松基地に展開し、航空自衛隊第6航空団所属のF-15と戦闘機戦闘訓練等を実施しました。

当局は、関係地元自治体等との連絡調整や不測の事態に迅速に対応するため、小松基地内に現地対策本部を設置するとともに、小松基地周辺の騒音測定や、夜の市街地巡回など、訓練移転が円滑に実施できるよう取り組み、今回の訓練移転を無事に終えることができました。



第18航空団のF-15



現地対策本部



騒音測定



市街地巡回

局長感謝状贈呈

7月23日（月）、2年間にわたり当局入札監視委員会委員長を勤めて頂いた、石田法子氏に近畿中部防衛局長から感謝状を贈呈しました。

石田法子氏は弁護士としてご活躍される多忙な中で、平成28年7月から平成30年7月まで入札監視委員会委員長として在任され、卓越した見識の下、貴重なご意見をいただくなど、契約の透明性の確保に大きく貢献されました。



感謝状贈呈



石田前委員と藤代前局長

優秀工事の顕彰状贈呈式

近畿中部防衛局において、当局発注工事の優秀工事受注者等に対し、平成30年7月2日に顕彰状の贈呈式を行いました。

この表彰は、特に品質等が優れ、他の模範とするにふさわしい優秀工事を表彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め工事目的物の品質確保を図る等、円滑な施設取得の推進に資することを目的としています。

今年度は優秀工事5件、優秀工事技術者4者、優秀業務1件及び優秀業務技術者1者が選定され、当局調達部長から顕彰状が贈呈されました。



受賞者と調達部長及び関係者

部長顕彰 対象工事	受賞者(敬称略)
経ヶ岬(28)訓練場整備土木工事	鶴美建設株式会社 現場代理人: 檜山 昌之 監理技術者: 河津 祥生
今津(28)演習場法面整備土木工事	株式会社桑原組
串本(28)宿舍浄化槽整備等工事	益田工業有限会社 現場代理人: 鈴木 邦夫 監理技術者: 渡辺 瑞穂
小松(29)北潟局整備土木その他工事	角谷木材建設株式会社
小松(28)燃料施設改修機械その他工事	不二熱学工業株式会社
部長顕彰 対象業務	受賞者(敬称略)
小松(29)宿舍新設建築その他設計	株式会社徳岡設計 管理技術者: 徳岡 浩二

米軍経ヶ岬通信所からのニュース

米陸軍経ヶ岬通信所のメンバーは8月5日に京丹後市久美浜町で開催されたドラゴンカヌーレースに参加しました。今回で4年連続の参加となります。京丹後の夏の風物詩ともいえるイベントに地域の一員として参加できることを光栄に思います。

多くのメンバーが初参加であり、レーンをまっすぐ進むのさえ大変でしたが、地域の皆様と素晴らしい時間を過ごし多くの思い出を作ることができました。

また、大会には航空自衛隊第35警戒隊や京丹後警察といった私たちのパートナーも参加し、共に競い交流を深める機会となっております。

来年も参加することを楽しみにしております。

【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。 <https://www.facebook.com/14MDB/>】



防衛省業務セミナー

平成30年7月から8月のあいだ、国家公務員一般職試験（大卒程度）受験生を対象に、防衛省の魅力をより知っていただくため業務セミナーを実施しました。

2ヶ月間で7回実施した結果、計約150名の受験生が参加しました。

業務セミナーでは、前半に防衛省の業務内容や魅力について説明を行い、後半に職員との座談会を行いました。座談会では、学生と立場に近い若手職員や様々な経験を積んだベテラン職員が対応し、活発な質疑応答が行われ、受験生からも「防衛省のことがよく分かった」と好評を得ました。

秋以降も、大学や専門学校等で業務セミナーを実施し、防衛省の業務や魅力について広く知っていただけるよう説明会を行っていきますので、みなさん是非参加してください。

※詳細は、当局ホームページ「採用情報」にてご確認ください。



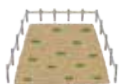
周辺財産（移転補償跡地）の個人・民間に対する有償使用許可のご案内

小松飛行場周辺地区には移転措置事業等により取得した防衛省所管の行政財産、いわゆる周辺財産と呼ばれる国有地があります。

小松飛行場の周辺財産については、これまでも地元自治体や電力事業者等に対して、公園、公共駐車場、電柱等、公共的な用途で使用許可を行ってまいりました。

今般、民間企業などから周辺財産を使用したい旨の要請があったこと等を踏まえ、国有地の有効活用を図る観点から、買い入れた土地の行政目的を妨げない範囲で、**新たに個人、企業等に対しても、公募により透明性、公平性を確保した上で、一定の条件の下、有償での使用許可を行うこととなりました。**

使用のご要望にあたっての条件など、詳しくは、当局ホームページをご覧ください、使用のご要望を検討される場合は、下記の連絡先にご相談下さい。



近畿中部防衛局 管理部 施設管理課

電話 (06) 6945-4957



近畿中部防衛局からのお知らせ

● 米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。



当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。



【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話 06-6945-4964

(夜間及び休日) 06-6945-5381

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所)

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

(電話・FAX)

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

(メールアドレス)

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌「近畿中部」は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2018 年 7-9 月号（通算第 54 号）

平成 30 年 10 月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953
URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。